

議会だより 第17号

第3回9月定例会

平成29年第3回(9月)定例会が9月5日から7日までの3日間の会期で開催され、人事案件1件、条例3件、報告1件、29年度各会計補正予算8件、28年度各会計決算9件などが提案され、慎重に審議された結果、区長会から提出の議員定数削減に関する請願書を除き、原案どおり可決・認定されました。

村長諸般の報告

○球磨郡町村会 平成30年度球磨管内主軸事業要望

熊本県知事、国土交通省九州地方整備局、九州農政局長、熊本県議会議長要望を経て、熊本県選出国会議員、国土交通省、農林水産省他関係省庁へ30年度球磨管内主軸事業の要望を実施。主要要望事業は、道路、砂防事業の整備促進、橋梁の長寿命化修繕、市房ダム湖周辺等の整備、林業振興施策の拡充強化、野生獣類被害対策、山村活性化に関する財政支援、教育支援活動に対する予算及び支援員の確保等。

○災害時における特設公衆電話の設置、利用に関する協定書調印式

8月21日、水上村と西日本電信電話株式会社熊本支店で、災害時における特設公衆電話の設置、利用に関する協定書の調印式を挙行。各地で発生している災害時に一般電話がつかないという事実が発生しているが、事前に特設公衆電話を設置すると、優先的につながりやすいメリットがある。この協定を機に村内の指定する主要避難所10ヶ所に西日本電

信電話株式会社が特設公衆電話の回線を設置し、本村が電話機をとりつけることにより被災者の通信手段を速やかに確保できる。今後の安心・安全な村づくりのために大きく寄与するものと期待する。

○ダイヤモンド婚、金婚式の表彰
ダイヤモンド婚(結婚60年) 9組
金婚式(結婚50年) 9組

○地域おこし協力隊員の採用

書類審査と面接試験を実施した結果、村上 幸さん(岩野覚井)を9月1日付けで採用し産業振興課で勤務いただくこととした。1年ごとの任期契約で最長3年間。

教育長諸般の報告

○中学女子ソフトボール九州大会

中学3年生、森川美咲さんが中学女子ソフトボール熊本県選抜チームの一員として、8月26日から27日に唐津市で開催された九州大会に出場し、打撃でチームに貢献。選抜チームでプレーできたことは本人にとってもよい経験になったし、後輩にもよい目標を示してもらえたと思う。

○2学期も小・中学生は元気に登校
暦の上では秋とは言いながらも、依然として日中は厳しい暑さが続いているが、村内小学校は議員の力添えにより空調設備、トイレの整備など学習環境が快適になっている。各学校には、より充実した学習活動を展開し学力の維持・向上に努めるようお願いしている。



洋式トイレ



湯山小・空調設備



岩野小・空調設備

○チーム「スカイヴィレッジ」がミスノウエーブエンペラーカップ出場

陸上競技クラブチーム「スカイヴィレッジ」が10月1日、東京都味の素スタジアムで開催されるミスノウエーブエンペラーカップ市民ランナー日本一決定戦に出場。チーム5人のうち、地域おこし協力隊員のおおてたかふみ、スカイヴィレッジ管理人の村上勝紀君がメンバー。水上村のよきPRにもなればと思う。



ミスノウエーブエンペラーカップ



ミスノウエーブエンペラーカップ
(九州ブロック代表チームの皆さんと)

人事案件

○水上村教育委員会委員の選任同意について
尾前和明氏(本野)を選任することに同意しました。

条例

○水上村地域公共交通対策協議会設置条例の一部を改正する条例の制定について
国土交通省・九州運輸局・熊本運輸支局との協議の中で、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく法定協議会の

位置づけを、より確固たるものとするための条例改正です。

○水上村一般職の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

職員が東京都及び政令指定都市に公共機関を利用して出張する場合の車賃支給を、「1回につき」から「1日につき」に改めるための条例改正です。

○水上村工場設置奨励条例の一部を改正する条例の制定について

本年7月の地域経済牽引事業促進法の施行に伴い、国が認める事業について工場以外の業種も法適用となったため必要な事項を改める条例改正です。

予算

○平成29年度水上村一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算の総額に2,577万円を追加し、総額を26億6,420万円とするものです。

歳出の主なものは、ガードレール・カーブミラー設置工事114万1,000円、農地などの災害復旧費1,600万円などを追加計上しました。



○平成29年度水上村国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に333万5,000円を追加し、総額を4億1,534万8,000円とするものです。

○平成29年度水上村介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に657万3,000円を追加し、総額を3億4,357万3,000円とするものです。

000円とするものです。

○平成29年度水上村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に17万4,000円を追加し、総額を3,248万4,000円とするものです。



○平成29年度水上村簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に21万6,000円を追加し、総額を3,445万6,000円とするものです。

○平成29年度水上村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に298万5,000円を追加し、総額を5,698万5,000円とするものです。

○平成29年度水上村林業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

特別会計歳入歳出決算認定について
○平成28年度水上村林業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
○平成28年度水上村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
いずれも審議の結果、原案のとおり認定されました。（10・11ページ掲載）

報告

○平成28年度水上村財政健全化判断比率の報告について

財政健全化法に基づき監査委員の意見を付して報告があり、いずれも早期健全化基準を下回っており良好と認められました。

その他

○村道の認定について（矢立線）



歳入歳出予算の総額に270万8,000円を追加し、総額を835万8,000円とするものです。
○平成29年度水上村下水道事業特別会計補正予算（第1号）
歳入歳出予算の総額に195万6,000円を追加し、総額を4,479万6,000円とするものです。

決算認定

○平成28年度水上村一般会計歳入歳出決算認定について

○平成28年度水上村国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について

○平成28年度水上村国民健康保険特別会計（直診勘定）歳入歳出決算認定について

○平成28年度水上村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

○平成28年度水上村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○平成28年度水上村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

○平成28年度水上村農業集落排水事業



8月8日開催

第4回臨時会

予算

○平成29年度水上村一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額に273万円を追加し、総額を26億3,843万円とするものです。

歳出の主なものは、国道388号線改良に伴う支障木伐採委託料120万円などを追加計上しました。

その他

○専決処分事項の承認を求めることについて（平成29年度水上村一般会計補正予算（第3号））

○継続審査申出書について

○議員派遣の件について
○継続審査申出書について

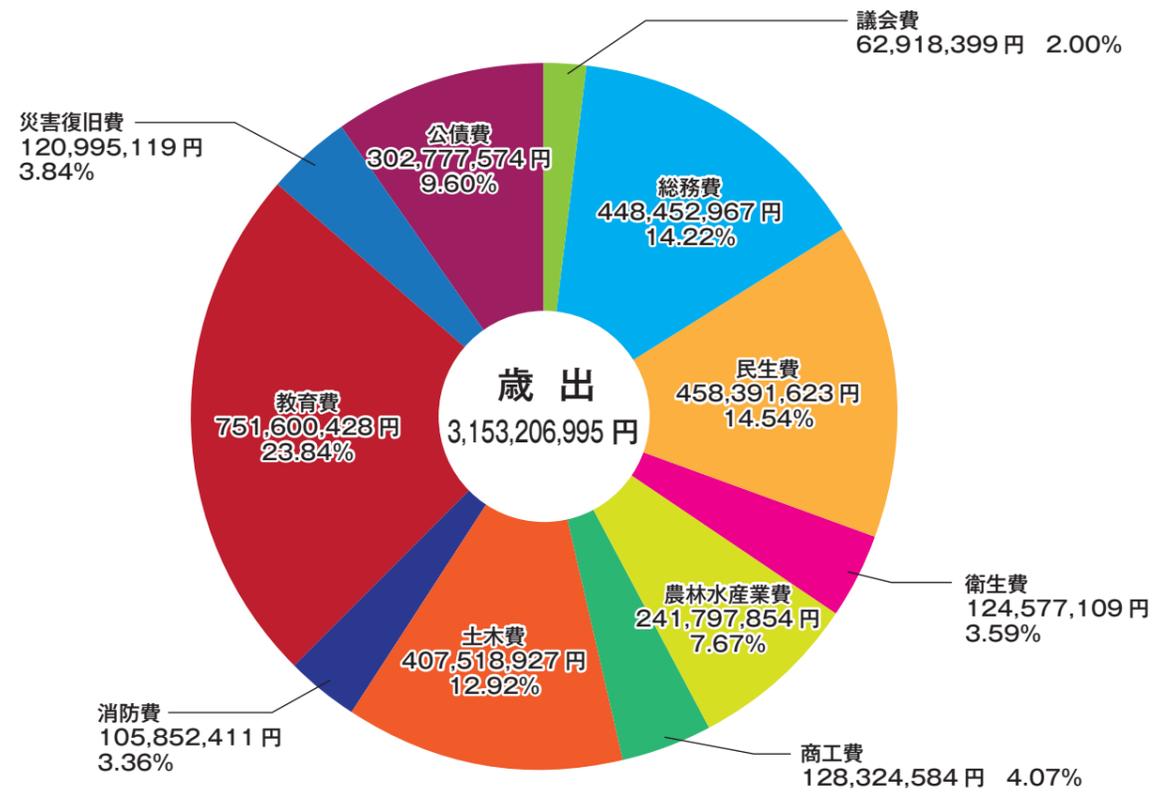
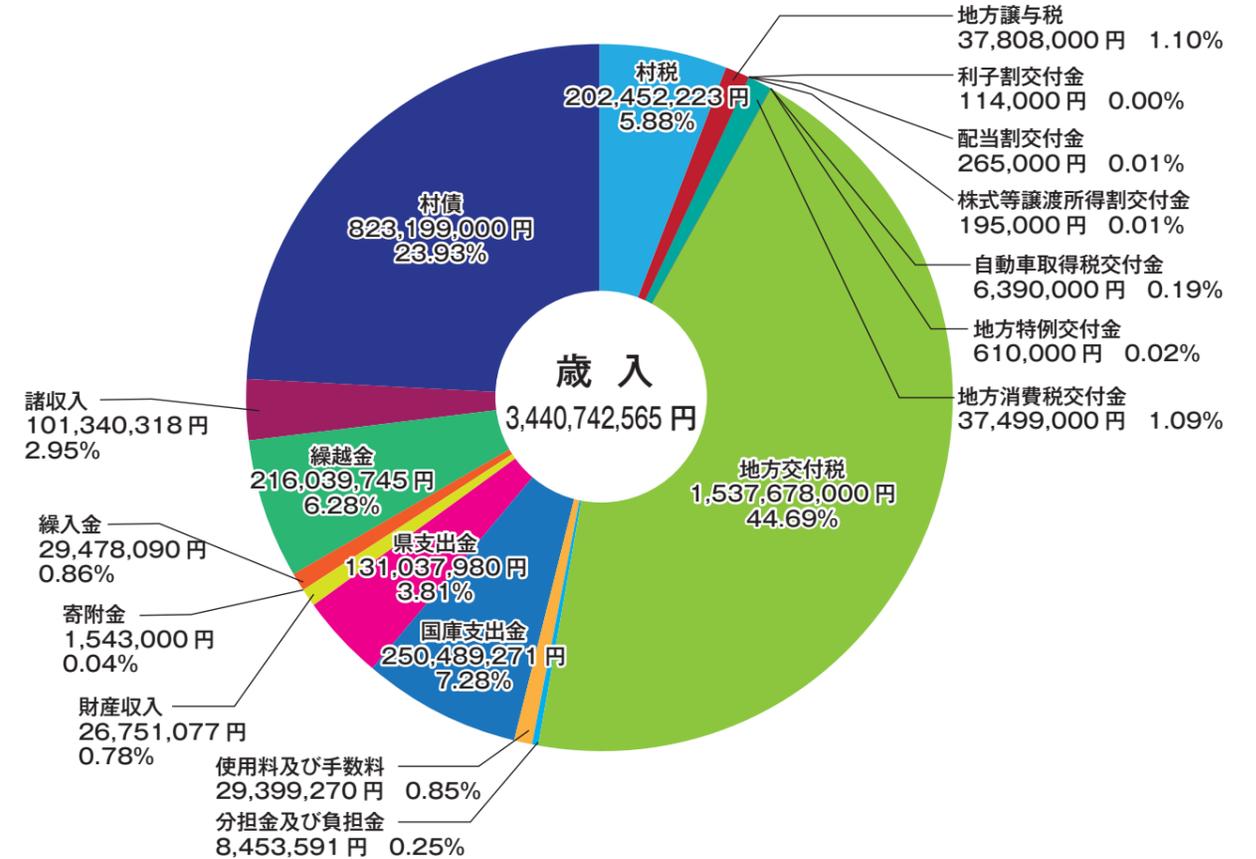


平成 28 年度 水上村会計別決算総括表

(単位：円)

会計別	区分	予算現額	決算額	予算現額に対する決算額比較増減額(繰越明許費を含む)	予算現額に対する決算額の比較(%)
一般会計	歳入	4,061,742,000	3,440,742,565	△ 620,999,435	84.71%
	歳出	4,061,742,000	3,153,206,995	△ 908,535,005	77.63%
	歳入歳出差引残額		287,535,570		
国民健康保険特別会計(事業勘定)	歳入	386,834,000	396,730,099	9,896,099	102.56%
	歳出	386,834,000	358,039,109	△ 28,794,891	92.56%
	歳入歳出差引残額		38,690,990		
国民健康保険特別会計(直診勘定)	歳入	8,471,000	8,469,120	△ 1,880	99.98%
	歳出	8,471,000	8,318,500	△ 152,500	98.20%
	歳入歳出差引残額		150,620		
介護保険特別会計	歳入	375,855,000	378,020,609	2,165,609	100.58%
	歳出	375,855,000	364,383,975	△ 11,471,025	96.95%
	歳入歳出差引残額		13,636,634		
後期高齢者医療特別会計	歳入	31,171,000	31,420,478	249,478	100.80%
	歳出	31,171,000	30,478,173	△ 692,827	97.78%
	歳入歳出差引残額		942,305		
簡易水道事業特別会計	歳入	42,331,000	43,521,650	1,190,650	102.81%
	歳出	42,331,000	38,506,744	△ 3,824,256	90.97%
	歳入歳出差引残額		5,014,906		
農業集落排水事業特別会計	歳入	54,000,000	54,254,029	254,029	100.47%
	歳出	54,000,000	51,268,612	△ 2,731,388	94.94%
	歳入歳出差引残額		2,985,417		
林業集落排水事業特別会計	歳入	5,650,000	5,723,087	73,087	101.29%
	歳出	5,650,000	4,614,647	△ 1,035,353	81.68%
	歳入歳出差引残額		1,108,440		
下水道事業特別会計	歳入	40,633,000	38,015,216	△ 2,617,784	93.56%
	歳出	40,633,000	33,058,321	△ 7,574,679	81.36%
	歳入歳出差引残額		4,956,895		
総合計	歳入	5,006,687,000	4,396,896,853	△ 609,790,147	87.82%
	歳出	5,006,687,000	4,041,875,076	△ 964,811,924	80.73%
	歳入歳出差引残額		355,021,777		

平成 28 年度歳入歳出表 一般会計



4. 調査の結果

以上の審議内容のように、統一した結論を得ることができなかつたため、第4回議員定数等に関する調査特別委員会の審議をもって、議員定数の方向性を決定し本定例会において結果報告を行うことを委員会に諮り、了承されましたので無記名投票により採決いたしました。

採決の結果、定数削減を主張する委員4名、定数現状維持を主張する委員6名となりました。

よって、本委員会の調査の結果、賛成者多数により議会議員の定数は、現状維持の10人とすることに決定しましたので報告します。

更に8月21日に区長会から提出されました水上村議会議員の定数削減に関する請願書は、本会議で議員定数等に関する調査特別委員会に付託されましたので、定例会期中に第5回委員会を開催しました。請願書を真摯に重く受け止め再度審議、協議し採決を行いました。

採決の結果、賛成委員 山崎隆浩 那須正弘 那須良策 富山憲治
反対委員 杉野久志 荒嶽 晋 米良 哲 米本宗徳
小野頼年 大石長一郎

以上、賛成者少数により不採択となりました。

※ 委員会は、議長を除く9名の委員で構成され、議事が可否同数のときは委員長の決するところとなっていますが、この議事については議員全員で採決することが委員全会一致で決定されたため、10名全員で採決が行われました。

議員定数等に関する調査特別委員会報告

平成27年12月10日の第4回水上村議会定例会において、本委員会に付託されました議会議員定数等について、その調査の結果をご報告いたします。

1. 委員会の開催日

第1回 平成27年12月10日 第2回 平成28年 2月22日
第3回 平成29年 2月16日 第4回 平成29年 8月 8日

2. 調査の経過

これまでの議員定数の推移、郡内・県内・全国の議員定数等を調査し、今後の議員定数に関し審議を行いました。

3. 審議の内容

※ 議員定数を削減すべきとの意見

- 前回の平成27年4月の村議会議員選挙では、議員定数と立候補者数が同数となり無投票の結果となったことから、次回の選挙でも無投票の恐れがある。
- 定数削減を望む村民の声もある。
- 人口の減少に伴った議員定数が必要。
- 県内、郡内の同規模自治体では定数削減されている。
- 定数を削減した分、少しでも報酬を上げることで、選挙に出やすい環境を整えるべき。
- 委員会等の委員数が足りなければ、複数の委員会所属などで対応すべき。

※ 現状の議員定数を維持すべきとの意見

- 前回の無投票選挙と議員定数とは直接関係はないのではないか。次回の選挙で無投票であれば致し方ないが、今回は削減すべきではない。
- 議会に対する不信感があるのは、議会や地域での議員活動が住民に見えにくいこともあるのではないかと。豊かな発想で村を発展させていくことが必要ではないか。
- 村民の参画を得た議会運営を成熟させていくことが大事である。二元代表制の議事・議決機関として我々の更なる努力により、定数については村民からもある程度理解していただけるのではないかと。
- 定数削減により、村民の選択や当選へのハードルが高くなることにより、ますます立候補が難しくなるのではないかと。
- 各町村が定数を削減していった場合、郡内をはじめ県内そして県議会議員、国会議員まで影響が波及する恐れがある。
- 今後、様々な権限委譲が増えてくる中で委員会の在り方も含め、一定の議員数があれば多種多様な意見を交わしての結論を出すこともできないし、議員の役割を伝えるうえからも一定の人数は必要である。





一般質問

考えを質す!

Q 里道などの村道認定の考えは

A 里道で整備していくか、村道にするか十分検討する



米良 哲 議員



問 村道認定は、どのような基準でなされているのか。

答 甲斐建設課長 要綱は整備しておらず、今までの申し合わせで住家2戸までの路線について認定している。

問 公共性や災害等の緊急時を考えると、住家が1戸であっても価値ある路線、例えば里道等を村道認定していく考えは。

答 中嶽村長 里道は道路法の適用がない法定外の公共物であるが、過去に運用した例もある。今後、整備計画があるのか聞き取り調査し補助率の嵩上げで整備するか、村道にしたほうがよいか十分検討する。

問 オフィスビルの利用促進及び利用計画は。

答 中嶽村長 12月から2月にかけては、施設をオフにしようということも考えたが、年間を通してアスリート養成のための利用が見込まれることから通年型とした。また、予約がない時期は担当課や観光協会と



スカイクラブナイト

A 担当課及び観光協会と連携し、広範囲で多目的な利用の通年型で

Q 水上スカイヴィレッジの利用促進と利用計画は

問 オープンしてからの利用状況は。

答 堤田教育課長 中学校が27名・実業団が3団体27名・その他一般が8団体・一般個人を合わせると405名の計1,043名、延べ5,504回利用されており宿泊は2,125泊となっている。

問 連携しイベント計画の支援を行い、多目的な利用を考えていきたい。

Q ミニガソリンスタンド設置の考えは

A 国の指針を見極めた後に検討



杉野 久志 議員

問 経済産業省がミニガソリンスタンドを導入する町村に対し、建設費の一部を補助する報道があるが村の考えは。

答 田代総務課長 平成23年に消防法の改正により、給油所が激減し本村でも一ヶ所になった。ミニガソリンスタンドは、600ℓの地上タンクで通常の3分の1、約1,000万円程度で建設はできるが、補助率はまだ示されていない。価格の設定、人件費、場所などの問題があり経済産業省の指針が発表された後、いろいろな方策を検討していきたい。

問 問題がクリアできれば設置するということでしょうか。

答 田代総務課長 現段階では設置するという答弁は差し控えたい。

一般的なGSとミニGSの違い



一般的なGS

- 1万ℓ前後の大型の地下タンク
- 建設費や維持費がかさむ



ミニGS (例)

- 600ℓ以下の小型タンク兼給油機を地上に設置
- 高さ1.5m程度
- 設置費は一般的なGSの約3分の1



山崎 隆浩 議員

Q 村長就任後の政治公約の実績と進捗は

A 「元気で輝くみずかみ」、「元気で笑顔あふれるみずかみ」の実現を目指す

問 「子どもとお年寄りに安全でやさしい村づくり」に関して、結婚・出産・子育てについて。

答 中嶽村長 ・ 出産祝い金の改定。(第一子3万円、第二子5万円、第三子以降10万円)

・ 学校給食費の公費負担。
・ 医療費の無償化。(高校3年生まで)

・ 通学費、下宿の支援。(80%以内上限1万円)

・ 不妊治療助成措置の拡充。(数名の方が利用され赤ちゃんも誕生している) 合計特殊出生率は現在17で1.9まで引上げ、将来20で安定した人口維持等を確立していきたい。

※合計特殊出生率とは、1人の女性が生涯に産むことが見込まれる子供の数を示す指標で、その年の15歳から49歳までの女性が生んだ子どもの数を元に算出される。

問 「村民皆がいきいきと働くことができる村づくり」に
関し産業推進機構の現状とある

べき姿について。

答 中嶽村長 農林産物、特用林産物を産品化し六次産業化を目指す。農産物の栽培指導や先進地研修など生産現場の強化に努め、更に物流セミナー(台湾の観光物産展に出向き米の販売価格を

1kg700円からの交渉を進めて

いる)を開催し、特産品開発(アグリビジネス

スエンターを活用しイ

チゴの濃縮ジュースや

椎茸粉末加工の試作に

取りかかっている)に

向けた取り組みをして

いる。29年



台湾観光物産展

問 「共生(自立)の村づくり」について。

答 中嶽村長 職員を総会や役員会、行事ごとに出席

させ地域の声を聞き、濃密なコミュニティ形成のためお手伝いをさせていただく。

・ 道路工事補助金交付条例の改正。(里道70%→80%)

・ 村道認定。
・ 定住促進対策。(宅地分譲・住宅建設)

問 「村財政健全化」に向けての実績と計画は。

答 中嶽村長 ・ 29年度から10年間の中期財政計画を策定し、財政の健全化に努める。

・ 27年度・28年度で3億2,000万円の基金を造成。
・ 集中改革プランを策定。(事務事業の再編・統合・廃止そして民間委託の検討、組織機構の見直しと定数管理、給料の適正化、第三セクターの見直し、経費削減の効果等を踏まえ財政対策を考える)

問 定住促進に係る住宅整備計画は。

答 甲斐建設課長 4月に住宅定住に関するアンケート

トを実施し、岩野地区は宅地分譲地の整備、湯山地区は村営住宅建設の計画を進めている。

問 所得制限がからず、単身者でも入居可能な住宅整備の考えは。

答 中嶽村長 入居の条件を緩和するには、公営住宅より一般住宅の整備になる。また、単身者向け住宅は国・県の補助事業がないのが現状。村単独で整備するか民間事業者と地方公共団体が共同で行う「PFI事業」も視野に入れて、1DK位の小さな住宅整備を検討したい。



その他の質問事項

- 地域公共交通計画について
- 地域活性化策について

編集後記

秋といえば実りの秋、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋などと言われ、一年で最も過ごしやすい季節です。黄色く色づいた稲穂も刈り取られ、今では刈り取った株から青い芽が出ていますが、今年の出来栄は如何だったでしょうか？

そうした反面、最近では高齢化や後継者不足等の問題で、耕作放棄地が目立つようになってきており、これからの深刻な問題だと考えます。朝・夕は肌寒くなり、すっかり晩秋の季節となりました。体調の管理が難しくなってきましたので十分注意して下さい。やがて紅葉のシーズンを迎えます。もみじ狩りなどで体をリフレッシュして、残りの月日を元気に過ごされる事を祈念します。

広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 荒嶽 晋 |
| 副委員長 | 米本 宗徳 |
| 委員 | 米良 哲 |
| 委員 | 山崎 隆浩 |

米良 哲